

## 「褒めてあげていいんだよ」前向き子育てで親子を楽に

育児に取り組む親御さんは、みなさんそれぞれ悩みを抱えているのではないのでしょうか。今回は、そんな悩める親子に手を差し伸べる、特定非営利活動法人和歌山子どもの虐待防止協会のみなさんの取り組みをご紹介します。



研修会の模様

ほっと一息できる場所を

和歌山子どもの虐待防止協会では、2000年から虐待防止などを呼びかけるセミナーの開催を始め、2018年には「かがやきポルトわこ」という施設を開設しました。育児というのは悩みが尽きないもの。「わこ」では、みんなが各々抱えている不安や悩みを打ち明けられる場所として、親御さんを迎えます。悩み相談だけではなく、ちょっとした息抜きをしたいというお母さんの居場所になれば、という思いもあるそうです。ぬいぐるみやマットも装備され、お子さんも一緒に

### 基盤となる考え方 トリプルP

トリプルPとは、「前向き子育てプログラム」と呼ばれるオーストラリア発の子育て法で、現在では日本でも普及しつつあります。子育ては一般的に「こうしなさい」「だめ！」という否定的な声掛けがよく使われていました。対してトリプルPでは、日々の良い行動に注目し、子どもの成長を促す方法を使います。「〇〇してね」というような前向きな声

来訪できる環境が整っています。電話で相談することもできるそうです。トリプルPとは、「前向き子育てプログラム」と呼ばれるオーストラリア発の子育て法で、現在では日本でも普及しつつあります。子育ては一般的に「こうしなさい」「だめ！」という否定的な声掛けがよく使われていました。対してトリプルPでは、日々の良い行動に注目し、子どもの成長を促す方法を使います。「〇〇してね」というような前向きな声



みその商店街にある「わこ」

掛けて「肯定的な子育て法」を提案しています。「トリプルP」を取り入れたセミナーやワークショップでは、参加者が「自分ならできるかも」と感じ、応用力を身につけられることが特徴だといいます。また「わこ」のスタッフは一貫してこの考え方を基盤として来訪者と接しているため、誰と話しても同じ考え方に基づいた話を聞くことができます。これは、悩みを抱える親御さんの混乱を生じさせないための工夫だといえます。

また子育ては親子だけの問題ではなく、祖父母や社会全体の対応も大きく関わってきます。そのような周りの対応の仕方についても考え、発信しているそうです。より多くの人が「トリプルP」により楽になれたら、悩みを解消できたらと、今日も和歌山で頑張る親子を迎えます。

協会では、2か月間、計8回の参加型グループセッションを通して、トリプルPの考え方を伝えていきます。また、対面型プログラムでは、参加者である親御さん同士で褒めあうワークを行っているそうです。これにより子どもを褒めるシミュレーションができると同時に、褒められる子どもの立場を体験することもできます。「日々の些細なこと

### トリプルPを伝える

また子育ては親子だけの問題ではなく、祖父母や社会全体の対応も大きく関わってきます。そのような周りの対応の仕方についても考え、発信しているそうです。より多くの人が「トリプルP」により楽になれたら、悩みを解消できたらと、今日も和歌山で頑張る親子を迎えます。

### これからの子育て 目指すところ

協会のみなさんは「子どもとの前向きな関わり方を広げたい」と話しています。親子ともに楽になることができるよう、一人ひとりに寄り添った活動を中心としているそうです。

また子育ては親子だけの問題ではなく、祖父母や社会全体の対応も大きく関わってきます。そのような周りの対応の仕方についても考え、発信しているそうです。より多くの人が「トリプルP」により楽になれたら、悩みを解消できたらと、今日も和歌山で頑張る親子を迎えます。

また子育ては親子だけの問題ではなく、祖父母や社会全体の対応も大きく関わってきます。そのような周りの対応の仕方についても考え、発信しているそうです。より多くの人が「トリプルP」により楽になれたら、悩みを解消できたらと、今日も和歌山で頑張る親子を迎えます。

### 【おしらせ】

今回の記事は、わかやま NPO センターへのインターン、山本みうさん（静岡大学）が取材・執筆を担当しました。

### 前向き子育てプログラム「トリプルP」オンライン講座受講受付中

対象 2歳から12歳のお子さんをお育て中の方、子どもにかかわるすべての大人  
受講料 先着1750名まで無料。定員に達し次第有料（約6,000円）  
内容 1回あたり約30分の動画視聴後にご自身で振り返りを実施。振り返り実施後、次の動画が視聴できるようになります。全8回。  
初回ログインから1年間は動画を繰り返し視聴できます。

ウェブサイト <https://triplep-online.com/>  
専用ブログ <https://ameblo.jp/toripurup2022/>  
受講に関するお問い合わせは和歌山子どもの虐待防止協会まで（TEL 073-425-6626…火・木・金曜の12時から15時、メール [wspan@yahoo.co.jp](mailto:wspan@yahoo.co.jp)）

## わかやま SDGs パートナシップ 基金へのご寄附のお願い

みんなの力でSDGs実現を！

3 すべての人に健康と福祉を

国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成には、世界のあらゆる国、あらゆる主体が参画することが求められています。ここ和歌山の地で、SDGs達成に向けた取り組みを進める産・官・学・民の連携を進めるための基金「わかやま SDGs パートナシップ基金」を発足しました。

今年度は、SDGs ゴール3「すべての人に健康と福祉を」に向けて活動する県内のNPO・ボランティア団体を応援します。

### 事業の流れ

1. 本事業の趣旨に賛同いただいた和歌山県内外の個人・企業のみなさまから、1口3,000円でご寄附のご協力をお願いします。  
昨年度は72件95口、285,000円のご協力をいただきました。
2. 集まったご寄附の額を元に助成事業枠を設定し、支援を希望するNPO・ボランティア団体の募集を行います。  
昨年度は3万円×10団体＝合計30万円の助成枠を設定し、募集を実施。  
40件を超えるご応募をいただきました。
3. わかやま NPO センターが設置する審査委員会（外部委員も含みます）による審査をおこない、支援の優先度合いが高いと判断された団体に助成を実施します。  
支援先件数はご寄附の集約状況により変動しますが、今年度も3万円×10団体程度

支援を計画しています。

4. ご寄附いただいた方には、翌年1月頃に寄附金受領証明書をお送りします。確定申告により所得税等の控除が受けられます。
5. 事業終了後、各助成先の取り組みを公開します。  
昨年度助成先の取り組み事例はこちらから▶



### ご支援の方法

- ▶ 1口3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込（振込手数料はご負担ください）、クレジットカード決済（振込手数料はかかりません）をご利用いただけます。
- ▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます。

<http://www.wnc.jp/sdgs/>

### 【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12  
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】



## 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

### イベント | 和歌山市駅前マルシェ・商業教育フェスタ2022

日時 10月29日（土）10:00～15:00  
場所 南海和歌山市駅前広場  
内容 ○和歌山市駅前マルシェ  
キッチンカー出店、手作り雑貨販売、フォークソングライブ、モルック体験会など  
○第16回商業教育フェスタ2022  
和歌山県内の商業高校生による物品販売、吹奏楽部・ダンス部によるオープニングパフォーマンス（参加校：笠田高校、市立和歌山高校、市立和歌山高校定時制、箕島高校、紀史館高校、神島高校、新翔高校、貴志川高校、和歌山高校、和歌山商業高校、南部高校、紀北農芸高校）  
主催 和歌山市駅前マルシェの会（080-1458-6198・岩橋さん）  
NPO 法人和歌山県商業高校教育研究会 和歌山県商業教育委員会（073-424-2446・濱仲さん、木部さん）  
備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場制限、内容の変更、公演等の中止を行う場合がありますのでご了承ください。